

令和5年

第4回4月定例教育委員会議事録

令和5年4月26日

大野城市教育委員会

## 次 第

- 1 招集日時  
○招集日 令和5年4月26日  
○開会時間 午前10時00分  
○閉会時間 午前10時50分
- 2 招集の場所 大野城市役所 本館4階 全員協議会室
- 3 会議次第
  - (1) 議事録署名委員  
令和5年第3回議事録の署名委員 高木 和敏 委員  
第4回議事録の署名委員 高野 英機 委員
  - (2) 議事  
第13号 大野城市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について  
第14号 大野城市学力向上実行委員会設置要綱の制定について  
第15号 臨時に代理した事件の承認について  
(大野城市学校運営協議会委員の任命：大野中学校)  
第16号 大野城市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
  - (3) 教育長報告
  - (4) 報告 なし
  - (5) その他
    - ①1学期学校訪問について
    - ②教育長の業務報告(3月～4月分)
    - ③教育委員会の主な行事・業務の予定(5月分)
- 4 出席した委員等 伊藤 啓二(教育長) 高木 和敏 梶原 千春  
松本 民仁 高野 英機 山口 典子
- 5 欠席した委員 なし
- 6 出席した職員 教 育 部 長 船越 康二  
教 育 政 策 課 長 光野 直隆  
教 育 振 興 課 長 中島 大輔  
教 育 支 援 課 長 山崎 栄子  
教育支援課主幹指導主事 平井 源樹  
ス ポ ー ツ 課 長 中川 啓  
教 育 政 策 課 係 長 川口 司寛  
教 育 政 策 課 担 当 佐藤 恵士  
教 育 政 策 課 担 当 橋本 由美
- 7 会議の書記 教育政策課担当 橋本 由美

午前10時00分 開会

○伊藤教育長

ただいまから令和5年4月の定例教育委員会を開会します。

〔会議録承認〕

○伊藤教育長

最初に議事録の承認に入ります。

前回の3月定例会にて高木委員さんをお願いをしておりましたので、署名をお願いいたします。

○高木委員

はい。

○伊藤教育長

それでは、今回の議事録の署名については高野委員をお願いいたします。次回の委員会にて御署名お願いいたします。

○高野委員

はい。

〔議 事〕

○伊藤教育長

では、3番、議事に入ります。

〔第13号議案 大野城市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について〕

○伊藤教育長

最初に、第13号議案、大野城市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について、光野教育政策課長、説明をお願いします。

○光野教育政策課長

それでは、説明をさせていただきます。

これは、電気料金などの公共料金につきまして、口座自動振替により支払う仕組みを変更し、伝票の起票を市の出納室にて一括で処理できるようにするため規程を改正するものでございます。

内容につきましては、本日お配りしております別紙、公共料金の支払いにおける自動振替払の導入事業の資料を御覧いただきたいと思います。

早速ですが下の図を御覧いただきたいと思います。現状では、今まで市役所の担当課でそれぞれの納付書により伝票を起こして、決裁を受けて、出納室に審査を依頼して支払っているという手続があります。今後導入いたしまして、福岡銀行とまず提携し、公共料金の支払いごとに請求書のまとめたデータを受信して、自動で各課予算と突合します。一括で出納室が決裁と審査を行い、自動払いで支払うという形になりますので、担当課の業務が不要になってくるところでございます。この自動払いの処理を市役所の出納室が一括で行えるように規程を改定するものです。

議案の裏の2ページを御覧いただきたいのですが、右側の改正後の別表第2、2の歳出の備考の下に書いていますが、口座の自動振替について、出納室長が専決できると文言を追加するものでございます。

説明は以上になります。

○伊藤教育長

では、ただいまの説明について何か質問はございませんでしょうか。

〔「なし」の声あり〕

○伊藤教育長

これより採決に入ります。

第13号議案について、承認することに異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○伊藤教育長

異議なしですので、第13号議案について承認することと決めます。

[第14号議案 大野城市学力向上実行委員会設置要綱の制定について]

○伊藤教育長

それでは続きまして、第14号議案、大野城市学力向上実行委員会設置要綱の制定について、山崎教育支援課長、説明をお願いします。

○山崎教育支援課長

それでは説明させていただきます。第14号議案、大野城市学力向上実行委員会設置要綱の制定についてでございます。

資料は3ページになります。

これまでも大野城市学力向上実行委員会につきましては、特に要綱等の定めはなかったんですけれども、大野城市立小中学校における学力向上に係る取組を推進するために、各小中学校の研究主任や学力向上コーディネーターをメンバーとして委員会を開催しておりました。

今回、児童生徒の基礎学力を把握するために、市で実施している学力検査の選定を学力向上実行委員会において実施し、教育委員会に意見具申をするということにいたしましたので、これを機に要綱を制定することとしたものでございます。

学力向上実行委員会では主に学力向上に関する指導方法の研究などを行ってまいりまして、その前段階として子供たちの現状の把握のために学力検査の実施が必要になるものでございます。学力検査そのものにつきましても従前から行ってきてはおりますが、これまで学力向上実行委員会から推薦をいただいて市教育委員会で選定をするというような形で事務を進めていきましたが、その選定に当たり、そのプロセスの方面から明確化を図ることを目的にこの要綱を設置するということで、今回提案をさせていただいたものでございます。

説明は以上になります。

○伊藤教育長

それでは、ただいまの説明について何か質問はございませんでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

○伊藤教育長

それでは、これより採決に入ります。

第14号議案について、承認することに異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○伊藤教育長

それでは、異議ありませんでしたので、第14号議案について承認すべきものと決めます。

それでは、学力向上のために事務をしっかり進めていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

〔第15号議案 臨時に代理した事件の承認について〕

○伊藤教育長

では続けます。第15号議案、臨時に代理した事件の承認について、山崎教育支援課長、説明をお願いします。

○山崎教育支援課長

第15号議案、臨時に代理した事件の承認についてでございます。

資料は6ページになります。

学校運営協議会の委員につきましては、学校運営協議会規則第4条において教育委員会が任命することとされておりますが、今回、大野中におきまして、本日より前に協議会が開催されますことから事前に任命する必要が生じたので、大野城市教育委員会事務委任規則第5条の規定により教育長が臨時に代理したため、これを報告し、承認を求めるものでございます。以上です。

○伊藤教育長

それでは、ただいまの説明について何か質問はございませんでしょうか。よろしいですか、高野委員。

○高野委員

事前に調べておけばよかったんですけど、選出区分の第1号は区長の充て職になっているんですか。

○山崎教育支援課長

区長または副区長になります。

○高野委員

この中で任期中に区長になられる方もいらっしゃるんですよ。

○山崎教育支援課長

17日の時点では副区長でいらっしゃいましたが、今後区長になられるということでお伺いしております。

○高野委員

選出区分はどうなりますか。

○山崎教育支援課長

区長でいらっしゃっても副区長でいらっしゃっても、区分は第1号で大丈夫です。

○高野委員

本人が替わるということですね。

○山崎教育支援課長

本人が替わるということです。

○伊藤教育長

そのほか何かありますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

○伊藤教育長

それでは、これより採決に入ります。

第15号議案について、承認することに異議はありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○伊藤教育長

異議なしですので、第15号議案について承認することと決めます。

[第16号議案 大野城市スポーツ推進審議会委員の委嘱について]

○伊藤教育長

続けて、第16号議案、別紙で本日お配りしている分です。大野城市スポーツ推進審議会委員の委嘱について、中川スポーツ課長、説明をお願いします。

○中川スポーツ課長

それでは、第16号議案、大野城市スポーツ推進審議会委員の委嘱について御説明いたします。

大野城市スポーツ推進審議会におきましては、大野城市のスポーツ推進計画やスポーツ施設の使用料、また、市のスポーツ施策等全般において御審議をいただいている機関でございます。

現在、任期が2年間、令和3年5月1日から令和5年4月30日までの委員の任期が今月末で満了することから、次期、令和5年5月1日から令和7年4月30日までの2年間について、委員の委嘱をお願いするものでございます。

大野城市スポーツ推進審議会設置条例第3条におきまして、教育委員会が委嘱するという規定をしております。次の2ページを御覧ください。こちらは、大野城市スポーツ推進審議会委員、新しい2年間の委員を委嘱する方たちでございます。右側の選出区分につきましては、第1号についてはスポーツ推進委員の代表者、それから第2号につきましてはスポーツ協会の代表者、第3号につきましてはコミュニティ運営協議会の代表者、第4号につきましては市立小学校及び中学校の校長、第6号におきましては学識経験者の区分で選出をしているものでございます。

説明は以上でございます。

○伊藤教育長

それでは、ただいまの説明について何か質問はございませんでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

○伊藤教育長

それでは、これより採決に入ります。

第16号議案について、承認することに異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○伊藤教育長

異議なしですので、第16号議案は承認すべきものと決めます。

〔教育長報告について〕

○伊藤教育長

それでは、議事が終了しましたので、4、教育長報告です。

8ページを御覧いただきたいと思います。

タイトル、令和5年度大野城市の教育の充実に向けてということで、私の教育長名で出している1枚のプリントです。

これは、年度の初めに校長会で、本年度重点を置いて進めていきたい事柄について焦点を絞って提示をして、市内の小中学校の教育活動等で進めていただきたい、学校経営で重視していただきたいということを挙げているものであります。

1、学力の向上について。

今年度の重点ということで、学習の個性化の推進ということです。学習指導要領が変わって、子供の学習の状況に応じて、あるいは子供の学びのスタイルに応じて学習を進めていくという形で新しい学習指導要領はつくられております。それに向けての授業改善や先生方の意識改革を進めていかなければなりませんので、その部分について重点的に進めようということです。

それから、力点というのは、そのための力の入れどころとして3例。

それから、行動規範というのは、それを進めていく上で先生たちが共通して意識しておく行動方針といいますか、きちんと徹底していくための行い方について示しております。

特に子供の学習が、探究部分の学習がしっかり進んでいくように、児童の学びに必要な情報を準備することであるとか、それから、児童が調べたことをきちんとまとめたり書いたりしていきながら発表していくというようなことも重視したいというふうに考えております。当然、ICTの機器の道具化というふうに書いていますけれども、ICT機器をフル活用して学びを推進していくように進めたいということで、この1点目を書いております。

2点目、生徒指導は、不登校児童生徒の学習保障、これは昨年度も上げておりましたけれども、その重点に関して2点、未来づくり支援センターと学校の連携による多様な方策の実施ということで、新しくリニューアルした未来づくり支援センター、みらい教室コンパスをしっかりと機能させながら、不登校の児童生徒の学習保障を進めていきたいということで書いております。

力点には、オンライン学習やオンデマンド学習の実施、それから、学校運営協議会でしっかり自校の不登校児童生徒の学習保障であるとか支援をどういう形でできるかということをお話してもらいながら、学校でいろんな方策を進めていただきたいというふうに考えての力点を掲げています。

行動規範としまして、2点書いております。

3番、その他については、ランドセルクラブ事業の理解促進と協力意識の向上、それから、中学校選択給食の利点を生かしたランチ給食サービスの利用の促進、それから、働き方改革がなかなか進まない状況があります。教育活動のスリム化や効率化による時間外勤務の削減などを今年度新たに付け加えながら、大野城市の教育活動の充実を意識して進めていただくように示しているところです。

4月の頭のところでこれを提示したんですが、詳しい説明ができておりませんので、今度の28日の校長会の折に、今、皆様方に説明したようなことを踏まえながら、校長会で示していきたいというふうに思っているところです。

私からの報告は以上です。何か教育長報告について御質問がありましたらお願いします。どうぞ。山口委員。

○山口委員

校長会のほうで提示したということで、詳しいことはまた次回ということになりますけれども、ランドセルクラブ事業の教職員の理解促進とかに関して、学校側の何か御意見はございましたでしょうか。

○伊藤教育長

いえ、今回の件に関して特段まだありません。今度28日に示しながら、このことについては、また私のほうからも補足をしながら説明をしていきたいというふうに思います。

子供の放課後の居場所づくりということに関しては、学校も保護者も一体となって、子供の学びの場であるとか過ごし方を補助していくことが重要ですので、市の重要な施策でもありますし、学校と連動して子供たちをきちんと育てていくというスタンスで、学校にも意識してもらいたいというふうに思っています。

学校の教職員に関しては、ランドセルクラブの意味、価値について、分かっているんでしょうけど、十分浸透はしていないところがあるかなというふうに思っていますので、その件について再度、校長会でも再認識をしていただきたいと思います。

○山口委員

ちょうど年度替わりで職員が替わったりしている現状で、ランドセルクラブも小学校10校で開催してしまっていて、学校ごとに規模ですとか環境とかが違うというのが現状なんですけれども、学校の先生方に理解をしていただくという面では、この前、大野南小学校が、教育振興課から全教職員の方に説明をしていただいたということがあるので、そういった形で全職員の方に、ランドセルクラブとはどういうものだ、どういう協力をいただきたいとかいう話を10校にしていただきたいなと思っております。

あとは、いつも言っている話なんですけれども、どうしてもやっぱりもう教室が足りなくなってしまうてしまっていて、5月から1年生の教室を借用するような準備を進めております。借用するに当たり、机の引き出しをどうしても子供って触ってしまって、物がなくなるということがあっては困るということで、学校からの要望で机のカバーを作りました。教育振興課で作りました。まさに今日、そのシミュレーションということで、その設置にどれぐらいかかるか、どういう形でやったら何分ぐらいで準備できるかというのを今日、私を含めて、そういった作業に入るところなんです。

1年生の二つの教室を実際、月曜日から金曜日まで毎日放課後借りるような状況です。6月からまたR登録という、プラスアルファで登録児童が増えるので、もうプラス1、全部で3教室、放課後に学校の教室を借りるということが初めて今年始まるんですけれども、恐らくいろんな想定しない問題だとか課題とかが出てくると思うので、今年はそこに向けて進んでいるので、まさに学校の協力を得ないとできない形になっています。

恐らく先生に迷惑がかかると思います。仕事の段取りも変わってくるし、例えば次の日が授業参観というときは教室を貸したくないという思いもあると思うので、その辺りはちょっと柔軟に、その日は使わないというような対応はしようと思うんですけども、そういう現場の意見とかいうのを本当拾っていかないと、この事業の目指しているところとちょっと違うところに行ってしまうのではないかと懸念をしています。

どうしても子供の放課後の時間というのは、学校で頑張って放課後は自由にしたいという伸び伸びした子供らしい子供ばかりで、いろんな事件が起こったりします。学校の施設を使っているので、学校の先生の協力を仰ぎながらしかできない事業というようになっていると思います。これから多分、想定しないようないろんなことが起こると思うので、それを一つ一つ解決しながら、子供の居場所という本来の目的に沿った環境づくりをしていきたいと現場ではいつも苦戦しております。本当にいろんな現場の問題があります。

市が掲げている全部の子供を受け入れるというのは、保護者にとってはとてもありがたい事業であって、先ほど教育長がおっしゃいましたように、保護者と学校と連携してというところで、なかなか保護者との連携というのは実際難しいなと思っているのが現状なんです。保護者の方も、お仕事しているから預けるという立場なので、そこに参画するような立場ではないので、現状をなかなか知ってもらえる場もないんですね。もちろん参観もないし、多少お便りで状況をお知らせするというぐらいしかできてないのが現状です。

日々解決できないものがいっぱいあるので、いろんな教育委員の方々や市の職員の方など、教育振興課だけではなくて、これは各課の連携につながることも、教室の問題とかあると思います。市で掲げている大きな事業ですので、皆さんの協力やお知恵をいただきたいなと思っております。現場はとても苦戦しています。以上です。

## ○伊藤教育長

大野小の件が出ておりましたけれども、大野小の件に関して当然、教育委員会として、放課後のランドセルクラブがより充実していけるように、よりよい方策はないか検討した結果、今できることを考えた上でやっていっております。不安な点や難しい面は当然あるというふうに思っていますし、そのことに関しても十分検討しながら進めてきています。ただ、全てが要求通りというわけには当然いきません。

私も3月に大野小学校に行って、職員みんなに協力の依頼をしてまいりました。ランドセルクラブの意義であるとか、子供たちの学びの場について、このランドセルクラブをどう考えるかということに関しても話をしてまいりました。それで十分、全部理解していただいたとは思っておりませんが、先ほども言いましたように、これは教育委員会も含めて市の事業として進めていることですから、いろいろな方が工夫をしながら進めていただかなければならないというふうに思っています。

また、教育振興課だけでなく、いろいろランドセルクラブの運用上の課題についてはヒアリングしながら、改善ができるところは進めていきたいと思っておりますし、またおいおいいろいろな形で話題になることがあると思いますので、その際、意見をいただきたいと思っております。

また、山口委員さんはもうランドセルクラブで今指導していただいているので具体的に分かっていらっしゃると思いますが、ほかの教育委員さん方もぜひまたランドセルクラブを時間があるときに見ていただいて、状況など様々、御自分の御自宅に近いところの学校のランドセルクラブの状況なども見ていただければありがたいなと思っております。

ほかに何か皆さん、御質問、御意見がありましたらお願いします。その件ではなくて、ほかの件でもどうぞ。

## ○高木委員

大野都市の教育の充実に向けて、その他の欄に、教育活動のスリム化っておりますね。ここに時間外勤務の削減ということで、中学校では部活動の外部委託が、令和8年に完全実施となり、今年スタートしていると思うんですが、ランドセルクラブと一緒に、本音の部分ではなかなか難しい部分があると思っております。

やはり意識は、中学校に行くとき必ず部活動をしなきゃいけない、先生も受け持たなきゃいけないという感覚で今までずっと来ているわけですね。これを急に変えると

いうのは難しいと思います。私もいろんなところで、特に文化関係で耳にします。それで、ぜひともその辺を円滑に行くように実施していただきたいです。

学校は、自分の中学校が優秀な成績を取ればそれでいいという意識の校長先生方もいらっしゃいます。教育長の立場と校長の立場は違うと思うんですよ。校長は自分の学校をきちんとやりたい、そして素晴らしい学校だっていうことをアピールしたい。その中にはやはり部活動で専門的な先生がいると、それに委ねる。そこが学校を中心に運営されるというのは、私が今までいろんなところで聞いた部分であります。部活を持たない先生ではなくて、その辺の改革をお願いしたいです。まずは校長先生方も改革してほしい。ぜひ教育長からもよろしくをお願いしたいなと思っております。

外部委託がうまくいかないと、もう形骸化だけして、ないがしろで、相変わらず学校は忙しいとなる。今、コロナとICT関係との対応が重なっているから余計に思うんですが、令和8年度を見越して、うまく一般市民がというか、保護者や地域等も理解が必要で、学校運営協議会にもお願い等しないと、形骸化したらもう終わりだと思えます。進まないと思います。

もし自分のお子さんがたまたま運よく、それを専門的な先生に、例えばバスケットをされたとかあればいいんですが、みんながみんな学校の先生は専門にできてないんですよ。だから、人事異動のときはやっぱり一番それが校長先生は不安なんですよ。絶対転勤がありますからね。だから、その辺はスムーズに行くように、教師の意識改革と親の意識改革をお願いします。急には変化しないと思いますので、よろしくをお願いしたいと思います。以上です。

#### ○伊藤教育長

何か、その件に関して、皆さん御意見ございますか。

部活動の地域移行については、大野城市でこういうふうにやっていきたいと思いますという明確な方針というのはまだ明らかになっておりません。関係各課、それから学校も含めて、保護者や生徒のアンケートを基にして、どういうことが一番具体的に実施できるかということを検討していく、まだそういう段階です。

大野城市はスポーツの面に関しても文化の面に関しても、独特、独自の仕組みを持っていますし、それがうまく機能しながら、社会体育の部分では充実してやっている部分もあります。そういうところも踏まえて、部活動の地域移行にどういう形が取れるか、一律にこれというのではなくて、ケース・バイ・ケースによって、やり方も違

ってくるのかなとかいうふうには思ったりしています。いずれにしても、まだまだ全国的にこれに関しては混沌としている状況ですね。それで、いち早くこれをやりたいという状況にはまだなっていません。

とは言いながらも、子供たちが、スポーツ、文化両面で部活動ができないということにならないように手を打っていかないといけないなというふうに思っているところです。

これに関しては、教育委員会もそうですけれども、いろんな場でちょっと議論していかないとなかなか難しいかなと、今言えるのはそんなところですね。これも教職員、それからいろんな市民の方々の理解を促進していかないとできないなというふうに思っているところです。

何か事務局のほうから付け加えがありましたら。中島教育振興課長。

#### ○中島教育振興課長

教職員のアンケートにつきましては、昨年度というか年度末に取らせていただきまして、まだ、集計、分析等まで行ってないところです。現状としてはまだそういったところがございます。今から関係各課とか関係団体、校長や学校とかと協議しながら進めていきたいというふうに考えているところですので、教育長がおっしゃったように、今こういったものがというふうな具体的なものがあるわけではありません。今からしっかり話をしながら考えて、今からやります。以上でございます。

#### ○伊藤教育長

中川スポーツ課長。

#### ○中川スポーツ課長

今、中学校の部活動につきましては、スポーツ課のほうで、運動部活動派遣、外部指導者派遣事業というものをやっております。スポーツ協会のリーダーバンク制度を活用しまして、各中学校の希望される、特に実技経験がない先生がいらっしゃる部活などですね、そういったところに外部指導者を派遣して、現在、令和5年度5月からその制度をスタートしますが、21名登録して派遣する予定にしています。

基本、大野城市の特徴としては、この外部指導者を平成11年からやっているというところで、この制度を十分に生かして、いろんな問題が出てくるでしょうが、これを

ポイントとして少し、どういう方向性に持っていけばいいか、当然先生の御意見や保護者の御意見、生徒の御意見、いろんな方の御意見を聞きながら、地域移行を進めていかないといけないと思っていますし、先日この外部指導者の方にも同様の話をさせていただきました。

基本そういった外部指導者の方、それから部活動したい先生方、こういった方が今後の指導者としてキーポイントになってくると思いますので、その方たちを中心にうまく構成ができればと思っています。以上です。

○伊藤教育長

高野委員。

○高野委員

今の議論と離れるんですけど、一番最後に学校運営協議会の機動力を高めることという項目がありますので、先ほどの第1号選出区分です。これは区長または副区長となっているんですね。

○山崎教育支援課長

そうですね。

○高野委員

結局これで選ぶと、年度替わりになると、現職で副区長以上でないと選出できないということになりますよね。区長は結構激務だということを私もいつも区の役員さんとかからお聞きしているんですね。区長が大変だから機動力がないとは言いませんけど、もっと、区の推薦の方で教育に関心をお持ちの方とか、そういう形で、区の推薦委員というような方向に変更したほうがいいのではないのでしょうか。区長さんも、ひょっとすると副区長で区長になられて、年度途中で副区長に、この職務を譲ると替わられる方もいらっしゃるかもしれませんが、できればこの辺を区の自由な推薦で選出できるように変えていくと、少しは変わってくるのではないかなと思います。

区長だから機動力がないというふうに受け取られると困るんですが、決してそういう意味ではありません。教育で、区の中にも元PTAで活動をやられて熱心だった方とかもいらっしゃるでしょうし、そういう方をこういうところに第1号委員として選

出できるような仕組みもつくったらどうだろうかというふうに、ちょっと先ほどの質問に関連して思いました。よろしくお願いします。

○伊藤教育長

山崎課長。

○山崎教育支援課長

御意見ありがとうございます。学校運営協議会の委員の構成につきましては、やはり学校のほうからも、地域のほうからも、あと各地域の中でも各種団体さんなどいろんな方からいろんな御意見をいただいております。またそれとは別に、学校運営協議会そのものの形態といいますか、形骸化というか、それも指摘をされているところもありますので、皆さんの御意見をお伺いしながら、少し見直せるところは見直しをかけていこうかなというふうに思いますので、随時御報告できるようにいたします。ありがとうございます。

○伊藤教育長

船越部長。

○船越部長

補足をさせていただきます。今年度につきましては、この規則の4条に基づき推薦等を依頼、お願いしておりますので、今年度につきましては、できましたらこの形でお願いして、今年度中にも、例えば1号委員については、区長あるいは区長が推薦する者とか、そういった少し幅広く持たせることについて検討させていただこうと思いますので、よろしくお願いします。

○高野委員

よろしくお願いします。

○伊藤教育長

また、それぞれ教育委員会から学校運営協議会に入っておりますので、その状況も踏まえながら、学校運営協議会のそれぞれの委員さんの意見等もしっかり聞きながら

進めていただければというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

そのほか、よろしいでしょうか。

[「なし」の声あり]

○伊藤教育長

それでは次に進みます。

[報告について]

○伊藤教育長

5番、報告については今回はありません。

[その他]

(1) 1学期学校訪問について

(2) 教育長の業務報告（3月～4月分）

(3) 教育委員会の主な行事・業務の予定（5月分）

○伊藤教育長

それではこれで4月の定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

午前10時50分 閉会